

事業概要シート

施策 1402 商工業経営基盤の強化と創業支援 <>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

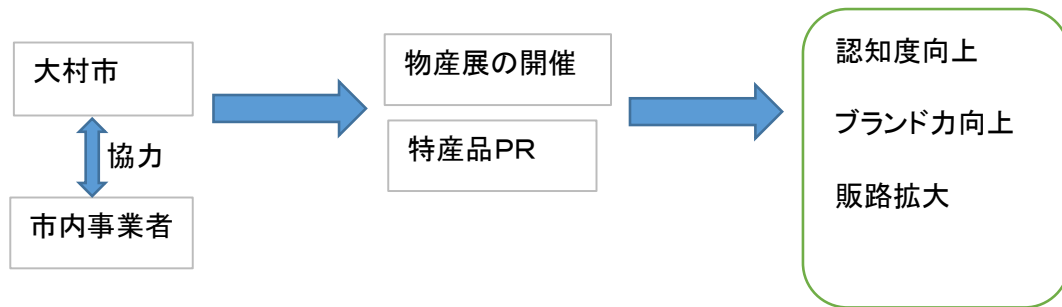
事業名	特産品販路開拓事業	現状維持	予算額	4,789 千円
			<<	4,927 >>千円
事業期間	平成29年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	4,789 千円
			一般財源	千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】 大村市外への販路開拓を図るため、大都市圏で開催される百貨店・大型複合商業施設及び催事場等で物産展・県内物産展の開催により特産品をPRし知名度向上を図り、物産の振興とブランド力向上につなげる。

【事業内容】

- (1) 物産展の開催により、大村市内事業者の販路拡大の機会を設ける。
 - ①長崎県アンテナショップ（東京都日本橋）等での物産展②首都圏、食のセレクトショップ等でのポップアップストアなど ③県内物産展
- (2) 姉妹都市（仙北市・伊丹市）、友好交流都市（飯南町）などで開催される物産展への参加。
- (3) 特産品PR
 - ①特産品のパンフレット作成
 - ②特産品を県人会やイベントにおける景品などとして提供しPRする。
 - ③新規の取引先に試供品として本市の特産品を提供する。
- (4) 公認居酒屋
本市の産品を使ったメニューを提供する飲食店を本市公認居酒屋とし本市の物産PRを行う。



【背景】

市内の市場マーケットが縮小していく中で、新たな販路を開拓を図る必要があり、市内事業者の課題でもある。

担当課	産業振興部ふるさと物産室	課長	福江 都志
担当者	松尾 礼子	問合せ先	0957-53-4111 (292)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	物産展開催数	目標値	0	1	1	4	4
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	来場者数	目標値		5000	20000	20000	20000
②		目標値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	2,430	4,927	4,789	4,789	4,789	21,724
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他			4,927	4,789	4,789	4,789	19,294
一般財源		2,430					2,430
人件費		2,314	6,737	6,737	6,737	6,737	29,263
職員(人)		0.30人	0.90人	0.90人	0.90人	0.90人	3.90人
時間外勤務(h)		20h	50h	50h	50h	50h	220h
嘱託員(人)		0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.25人
フルコスト	0	4,744	11,664	11,526	11,526	11,526	50,987

妥当性 (市の関与)	本市特産品の知名度向上及び販売促進を図るため、大都市圏の百貨店・大型複合商業施設及び催事場等で大村市物産展を開催するなど、特産品PRを行うことが必要。 (本市特産品の知名度向上の取り組みであり、市が積極的に取り組むことは妥当である。)
有効性 (施策貢献度)	特産品の販路開拓により大村市の地域経済活性化を図っていく。 (本市特産品の知名度及びブランド力向上を図ることは、地域活性化につながる。)
効率性 (コスト)	一過性のイベントに終わらない継続的な取り組みが必要であり、一大消費地である大都市において、特産品販路開拓事業を実施することは必要である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--